

II 調査結果の詳細（アンケート調査からみた経営動向）

※ 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、D I を算出すると±0.1 ポイントの範囲で差異が生じることがある。

1 経営者の景況感と来期の見通しについて

（1）現在の景況感

自社業界の景気について「好況である」とみる企業は6.0%、「不況である」とみる企業は46.7%で、景況感D I（「好況である」－「不況である」企業の割合）は▲40.8となった。前期（▲38.0）から2.8ポイント減少し、3期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

「好況である」とみる企業は4.9%、「不況である」とみる企業は51.8%で、景況感D I は▲46.9となった。前期（▲43.9）から3.0ポイント減少し、3期ぶりに悪化した。

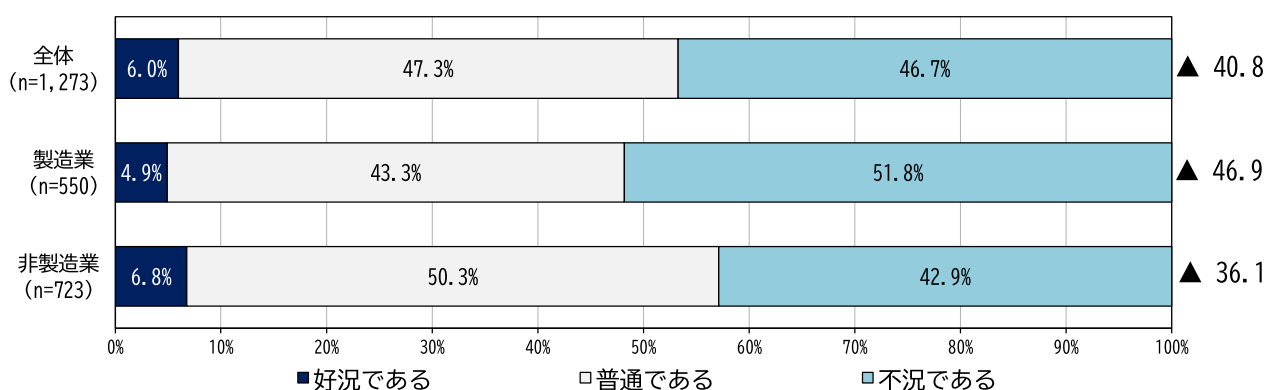
業種別にD I 値をみると、12業種中、「化学工業」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「金属製品」「電気機械器具」「一般機械器具」が前期から改善し、それ以外の6業種は前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で24.8ポイント減少し、前年同期比でも8.5ポイント減少した。

非製造業

「好況である」とみる企業は6.8%、「不況である」とみる企業は42.9%で、景況感D I は▲36.1となった。前期（▲33.5）から2.6ポイント減少し、3期ぶりに悪化した。

業種別にD I 値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」が前期から改善し、「サービス業」は横ばいに推移し、それ以外の4業種は前期から悪化した。特に、「運輸業」は前期比で12.7ポイント減少した。

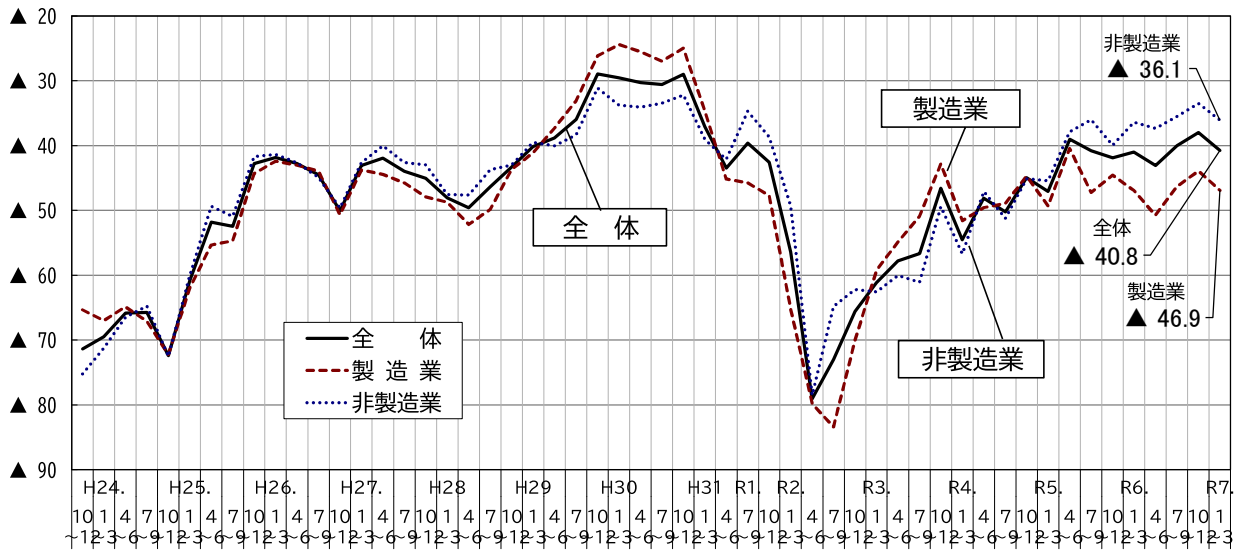
〔業種別の景況感D I〕



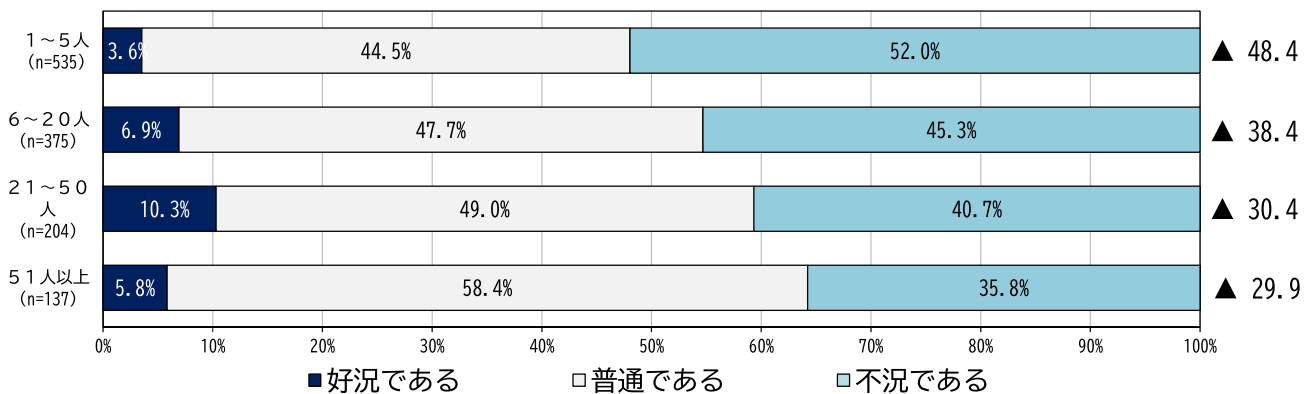
〔景況感D I の推移〕

	当期DI (R7.1-3)	前期比 (R6.10-12)	前年同期比 (R6.1-3)	来期見通しDI (R7.4-6の見通し)	前期比[前回調査] (R7.1-3の見通し)
全 体	▲40.8	▲2.8	+0.2	▲17.4	+0.3
製 造 業	▲46.9	▲3.0	0.0	▲18.8	▲2.2
非製造業	▲36				

〔景況感D I の推移〕



〔従業員規模別の景況感〕



（2）来期（令和7年4月～6月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は7.7%（前期比+0.5%）、「悪い方向に向かう」とみる企業は25.1%（前期比+0.2%）だった。先行きD Iは▲17.4（前期比+0.3）と、2期ぶりに改善した。

〈業種別〉

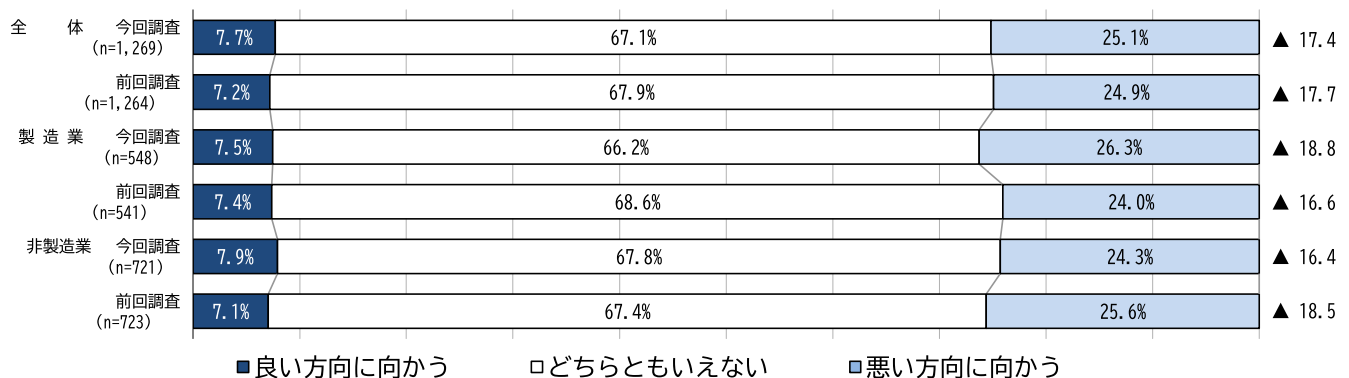
製造業

先行きD Iは▲18.8（前期比▲2.2）と、2期連続悪化した。

非製造業

先行きD Iは▲16.4（前期比+2.2）と、2期ぶりに改善した。

〔来期の景況感D I〕



〔景況感D I の推移（詳細）〕

景況感D I の推移

業 種	R6. 1～3月期	R6. 4～6月期	R6. 7～9月期	R6. 10～12月期	R7. 1～3月期 (当 期)	増 減		R7. 4～6月期 (見通し)
						前期比	前年 同期比	
全 体	▲ 41.0	▲ 43.1	▲ 40.0	▲ 38.0	▲ 40.8	▲ 2.8	0.2	▲ 17.4
製 造 業	▲ 46.9	▲ 50.8	▲ 46.3	▲ 43.9	▲ 46.9	▲ 3.0	0.0	▲ 18.8
食料品製造	▲ 36.7	▲ 42.0	▲ 37.5	▲ 20.5	▲ 45.2	▲ 24.8	▲ 8.5	▲ 11.9
繊維工業	▲ 56.8	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 51.9	▲ 54.5	▲ 2.7	2.2	▲ 39.4
家具・装備品	▲ 29.6	▲ 48.1	▲ 42.9	▲ 35.7	▲ 45.2	▲ 9.4	▲ 15.5	▲ 41.9
パルプ・紙・紙加工品	▲ 73.9	▲ 63.6	▲ 64.4	▲ 51.0	▲ 62.0	▲ 11.0	11.9	▲ 18.0
印刷業	▲ 44.7	▲ 75.0	▲ 64.1	▲ 46.3	▲ 68.9	▲ 22.5	▲ 24.2	▲ 31.1
化学工業	▲ 27.9	▲ 28.9	▲ 34.0	▲ 31.1	▲ 11.1	20.0	16.8	▲ 5.6
プラスチック製品	▲ 49.0	▲ 55.6	▲ 41.8	▲ 45.5	▲ 39.6	5.9	9.4	▲ 19.6
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 54.0	▲ 53.2	▲ 60.0	▲ 68.4	▲ 60.8	7.6	▲ 6.8	▲ 33.3
金属製品	▲ 52.2	▲ 50.7	▲ 54.8	▲ 48.6	▲ 48.5	0.1	3.7	▲ 11.8
電気機械器具	▲ 38.2	▲ 50.0	▲ 31.4	▲ 50.0	▲ 39.1	10.9	▲ 0.9	▲ 4.3
輸送用機械器具	▲ 40.0	▲ 41.3						

2 売上げについて

（1）当期（令和7年1月～3月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」と答えた企業は16.7%、「減少した」と答えた企業は39.0%で、売上げDI（「増加した」－「減少した」と答えた企業の割合）は▲22.3となった。前期（▲8.1）から14.2ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は16.0%、「減少した」と答えた企業は40.5%で、売上げDIは▲24.5となった。前期（▲5.7）から18.8ポイント減少し、4期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「電気機械器具」「一般機械器具」の3業種が前期から改善し、それ以外の9業種は前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で51.2ポイント減少し、前年同期比でも26.7ポイント減少した。

非製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は17.2%、「減少した」と答えた企業は37.8%で、売上げDIは▲20.6となった。前期（▲10.0）から10.7ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「情報サービス業」「不動産業」の2業種が前期から改善し、それ以外の5業種は前期から悪化した。特に、「飲食店」は前期比で24.9ポイント減少し、前年同期比でも23.8ポイント減少した。

〔売上げ実績〕

	増加した	変わらない	減少した	DI	前期比	前年同期比
全 体	16.7%	44.4%	39.0%	▲22.3	▲14.2	+3.5
製 造 業	16.0%	43.6%	40.5%	▲24.5	▲18.8	+3.6
非製造業	17.2%	45.0%	37.8%	▲20.6	▲10.7	+3.4

（2）来期（令和7年4月～6月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する見通し」と答えた企業は18.2%、「減少する見通し」と答えた企業は30.9%であった。

当期の売上げDI（▲22.3）と比べて、来期DIは▲12.7（当期比+9.6）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の売上げDIは▲12.9（当期比+11.6）と改善する見通しである。

非製造業

来期の売上げDIは▲12.5（当期比+8.1）と改善する見通しである。

3 資金繰りについて

（1）当期（令和7年1～3月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.0%、「悪くなった」と答えた企業は26.4%で、資金繰りDI（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲19.5となった。前期（▲17.2）から2.3ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は6.6%、「悪くなった」と答えた企業は28.5%で、資金繰りDIは▲21.9となった。前期（▲17.6）から4.3ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「化学工業」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「一般機械器具」の5業種が前期から改善し、それ以外の7業種は前期から悪化した。特に、「繊維工業」は前期比で22.0ポイント減少し、前年同期比でも30.0ポイント減少した。

非製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.3%、「悪くなった」と答えた企業は24.9%で、資金繰りDIは▲17.6となった。前期（▲16.9）から0.7ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「運輸業」「不動産業」の4業種が前期から改善し、それ以外の3業種は前期から悪化した。特に、「飲食店」は前期比で6.2ポイント減少し、前年同期比でも19.8ポイント減少した。

〔資金繰り実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	7.0%	66.6%	26.4%	▲19.5	▲2.3	+3.7
製 造 業	6.6%	64.9%	28.5%	▲21.9	▲4.3	+4.0
非製造業	7.3%	67.8%	24.9%	▲17.6	▲0.7	+3.5

（2）来期（令和7年4～6月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる見通し」と答えた企業は7.9%、「悪くなる見通し」と答えた企業は25.4%であった。

当期の資金繰りDI（▲19.5）と比べて、来期DIは▲17.6（当期比▲1.9）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の資金繰りDIは▲19.3（当期比+2.6）と改善する見通しである。

非製造業

4 採算について

（１）当期（令和7年1月～3月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」と答えた企業は8.9%、「悪くなった」と答えた企業は35.5%で、採算D I（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲26.6となった。前期（▲23.3）から3.2ポイント減少し、4期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は9.5%、「悪くなった」と答えた企業は36.4%で、採算D Iは▲26.9となった。前期（▲22.3）から4.5ポイント減少し、4期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「家具・装備品」「化学工業」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「一般機械器具」の5業種が前期から改善し、それ以外の7業種は前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で23.7ポイント減少し、前年同期比でも37.7ポイント減少した。

非製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は8.5%、「悪くなった」と答えた企業は34.8%で、採算D Iは▲26.3となった。前期（▲24.1）から2.3ポイント減少し、2期連続悪化した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「建設業」「不動産業」の2業種が前期から改善し、「飲食店」は横ばいで推移し、それ以外の4業種が悪化した。特に、「サービス業」は前期比6.0ポイント減少し、前年同期比でも3.3ポイント減少した。

〔採算実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	8.9%	55.6%	35.5%	▲26.6	▲3.2	+2.0
製 造 業	9.5%	54.1%	36.4%	▲26.9	▲4.5	+3.6
非製造業	8.5%	56.8%	34.8%	▲26.3	▲2.3	+0.7

（２）来期（令和7年4月～6月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる見通し」と答えた企業は9.7%、「悪くなる見通し」と答えた企業は29.4%であった。

当期の採算D I（▲26.6）と比べて、来期D Iは▲19.8（当期比+6.8）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の採算D Iは▲19.5（当期比+7.4）と改善する見通しである。

非製造業

5 設備投資について

（１）当期（令和7年1～3月期）の状況

当期に設備投資を実施したと答えた企業は21.6%で、前期（23.9%）から2.3ポイント減少し、3期ぶりに減少した。

内容をみると、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が43.5%で最も高く、「車両・運搬具」が32.0%、「情報化機器」が26.8%と続いている。

目的では、「更新・維持・補修」が69.8%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が27.0%、「合理化・省力化」が27.0%と続いている。

〈業種別〉

製造業

設備投資を実施したと答えた企業は24.1%で、前期（26.4%）から2.4ポイント減少し、2期連続減少した。また、前年同期（23.2%）から0.9ポイント増加した。

業種別でみると、12業種中、「パルプ・紙・紙加工品」「印刷業」「プラスチック製品」「電気機械器具」「一般機械器具」の5業種が前期から増加し、それ以外の7業種は減少した。

設備投資の内容は、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が65.6%で最も高く、次いで、「情報化機器」が23.4%、「車両・運搬具」が21.1%と続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が70.2%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が28.2%、「合理化・省力化」が25.8%と続いている。

非製造業

設備投資を実施したと答えた企業は19.7%で、前期（22.0%）から2.3ポイント減少し、3期ぶりに減少した。また、前年同期（18.1%）から1.6ポイント増加した。

業種別でみると、12業種中、「飲食店」「情報サービス業」の2業種が前期から増加し、それ以外の10業種は増加した。

設備投資の内容は、「車両・運搬具」が41.8%で最も高く、次いで、「情報化機器」が29.8%、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が23.4%と続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が69.5%で最も高く、次いで「合理化・省力化」が28.1%、「生産・販売能力の拡大」が25.8%と続いている。

〔設備投資実施率〕

	実施した	実施しなかった	前期比	前年同期比
全 体	21.6%	78.4%	▲2.3	+1.3
製 造 業	24.1%	75.9%	▲2.4	+0.9
非製造業	19.7%	80.3%	▲2.3	+1.6

（2）来期（令和7年4～6月期）の見通し

来期に「設備投資を実施する予定」と答えた企業は21.6%で、当期（21.6%）から横ばいに推移する見通しである。

〈業種別〉

製造業

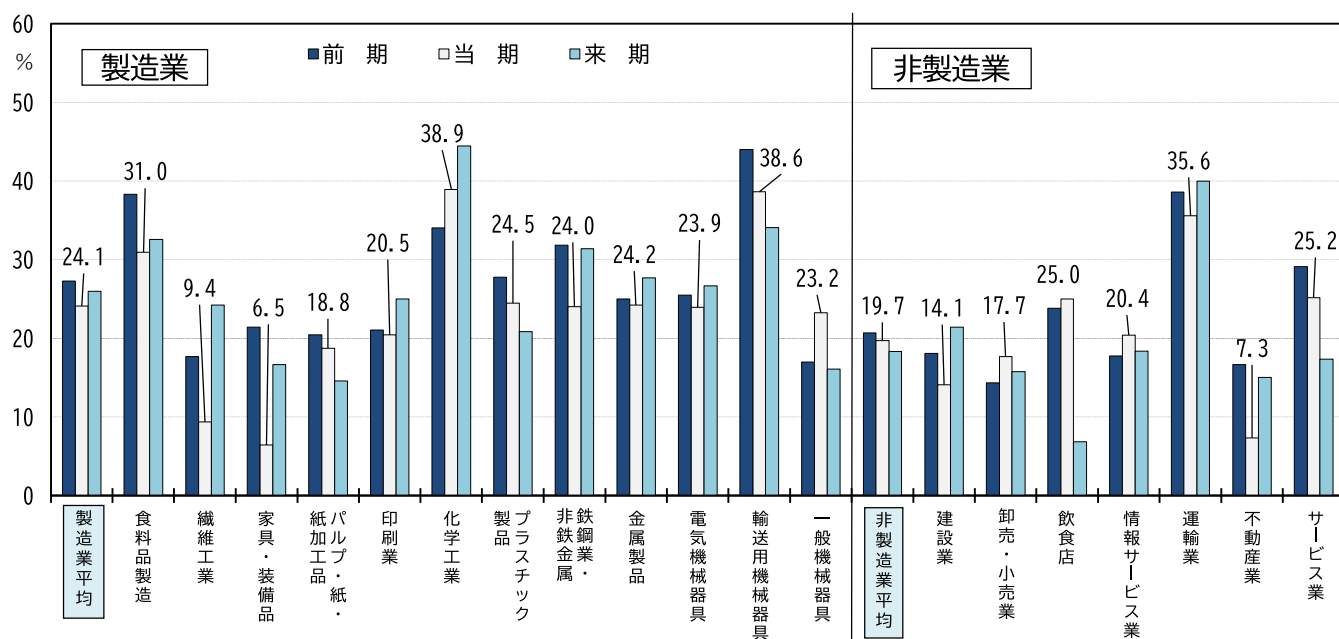
「設備投資を予定している」と答えた企業は26.0%となっており、増加する見通しである。

非製造業

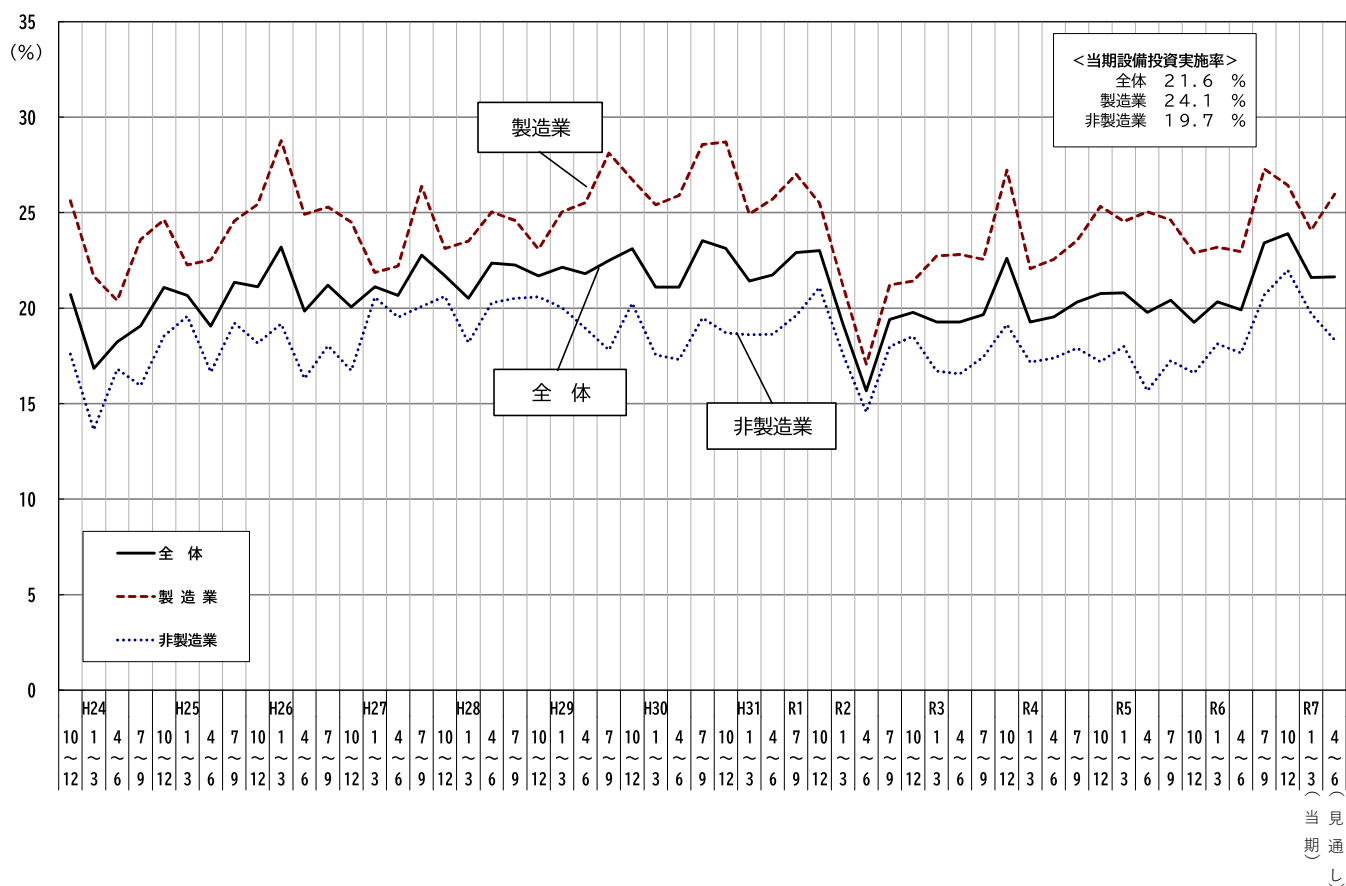
「設備投資を予定している」と答えた企業は18.3%となっており、減少する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P 59）を御覧ください。

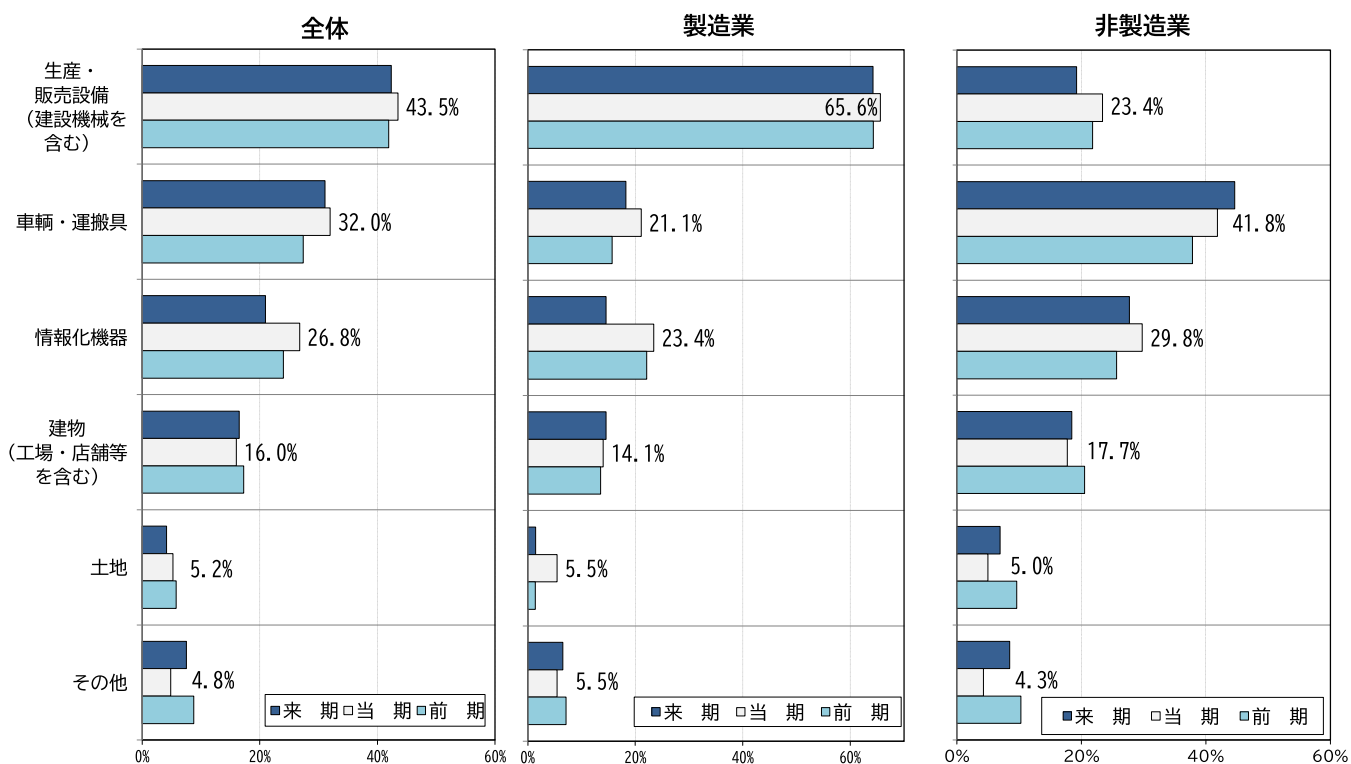
〔業種別・設備投資実施率〕



〔設備投資実施率の推移〕

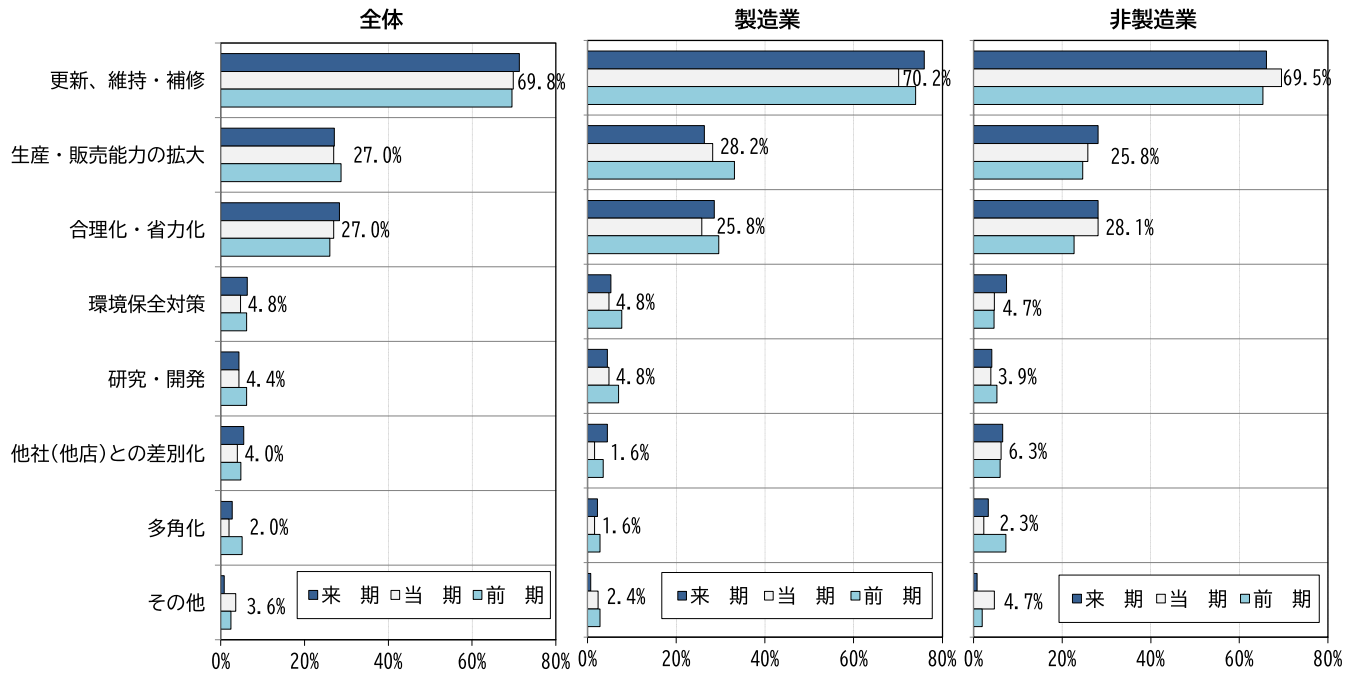


〔設備投資の内容【複数回答】〕



※数値は当期の実施率

〔設備投資の目的【複数回答】〕



※数値は当期の実施率